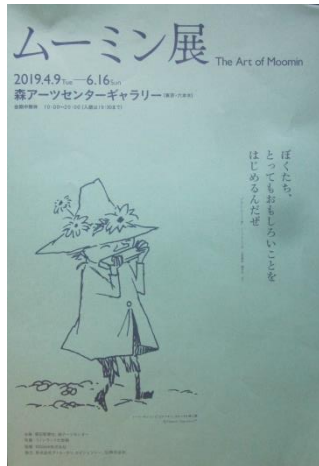


「ムーミン展」 The Art of Moomin

森アートセンターギャラリー（六本木） 2019.04.09～06.16



「ムーミン」は、誕生してから70年を過ぎた現在でも、老若男女を問わず愛されるユニークなキャラクターで、ただ可愛いだけでなく、どこかミステリシャスで哲学的、そしてユーモラスな世界が人々の魅了している。

フィンランドの芸術家「トーベ・ヤンソン」生み出した「ムーミン」は、小説、絵本、新聞連載コミック、アニメなどに様々な形で表現され、世界中で親しまれている人気シリーズで、今なお多くのファンが存在している。

本展では、作者「トーベ・ヤンソン」が最後まで手元に残していた貴重な蒐集品などを含めて、「約500点のムーミン関連作品」が終結し、多彩なアートと奥深い物語を体験できる。

2019年は、発祥の「フィンランド」と「日本」の外交関係樹立100周年を迎える年で、その世界にどっぷり浸かりたい「ムーミン・イヤー」とされている。



左：《スヴェンスカ・ダークラベツト》スウェーデン日刊紙広告 1957年印刷

右：《イースターカード原画》 1940年頃

作品は、何れも「トーベ・ヤンソン」作で、ムーミンキャラクター社所蔵